

結果の概要

1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,175.3千人、「外来」7,275.0千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,175.3千人について、施設の種類の別みると「病院」1,148.6千人、「一般診療所」26.7千人、性別にみると「男」539.9千人、「女」635.4千人、年齢階級別にみると「65歳以上」887.2千人、「70歳以上」805.3千人、「75歳以上」672.9千人となっている。

「外来」7,275.0千人について、施設の種類の別みると「病院」1,516.9千人、「一般診療所」4,494.3千人、「歯科診療所」1,263.8千人、性別にみると「男」3,096.1千人、「女」4,178.9千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,698.2千人、「70歳以上」3,103.7千人、「75歳以上」2,275.3千人となっている。（表1、統計表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

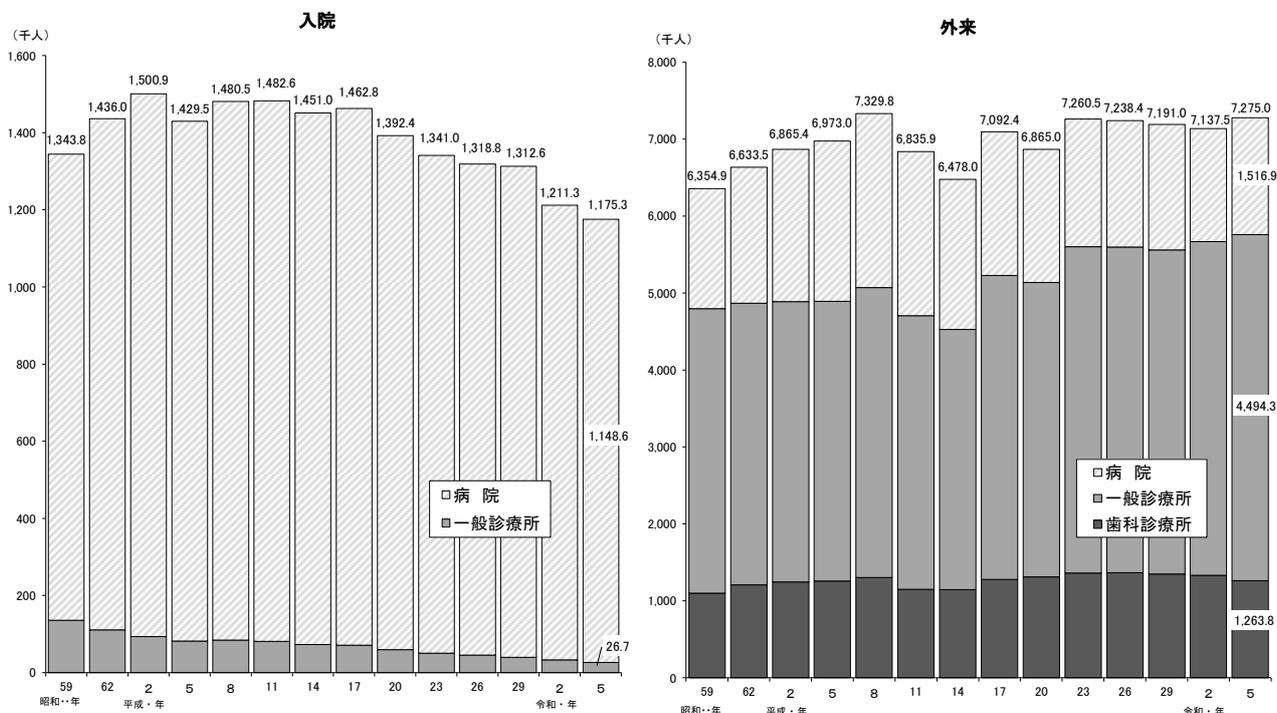
(単位:千人) 令和5年10月

性 年齢階級	入院			外来			
	総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数	1 175.3	1 148.6	26.7	7 275.0	1 516.9	4 494.3	1 263.8
男	539.9	531.0	8.9	3 096.1	706.8	1 870.3	518.9
女	635.4	617.6	17.8	4 178.9	810.1	2 623.9	744.9
0歳	9.4	8.8	0.5	49.0	10.2	38.5	0.2
1～4	5.1	5.1	-	209.5	25.1	168.9	15.6
5～9	4.2	4.2	-	251.4	26.3	176.0	49.0
10～14	4.6	4.6	0.0	193.1	22.6	134.8	35.7
15～19	6.3	6.2	0.1	135.1	19.7	93.8	21.6
20～24	8.6	8.2	0.3	147.6	23.1	95.1	29.4
25～29	11.8	10.6	1.3	183.8	29.6	114.8	39.3
30～34	15.3	13.5	1.8	204.2	35.4	127.0	41.8
35～39	17.1	16.0	1.1	236.3	42.6	143.7	49.9
40～44	20.0	19.6	0.4	271.9	52.1	161.0	58.8
45～49	28.9	28.3	0.7	356.6	70.5	208.7	77.4
50～54	42.5	42.0	0.5	424.1	90.8	245.6	87.7
55～59	50.8	49.7	1.0	428.1	94.3	251.9	81.8
60～64	62.9	62.1	0.8	474.4	106.7	274.8	92.9
65～69	81.9	80.6	1.3	594.5	133.5	353.5	107.5
70～74	132.5	130.5	1.9	828.4	198.2	500.9	129.3
75～79	152.0	149.3	2.6	836.9	202.2	513.3	121.5
80～84	174.0	171.0	3.0	708.0	168.6	438.4	101.0
85～89	175.6	171.6	4.0	456.9	105.6	277.6	73.7
90歳以上	171.3	166.1	5.2	273.6	58.6	167.2	47.8
不詳	0.7	0.6	0.1	11.7	1.0	8.8	1.8
(再掲)							
65歳以上	887.2	869.2	18.0	3 698.2	866.6	2 250.8	580.8
70歳以上	805.3	788.6	16.8	3 103.7	733.1	1 897.3	473.3
75歳以上	672.9	658.0	14.8	2 275.3	534.9	1 396.4	344.0

推計患者数の年次推移をみると、入院では平成20年から減少しており、現在の調査方法となった昭和59年以降最も少なくなっている。また、外来では平成23年からほぼ横ばいとなっている。（図1、統計表1）

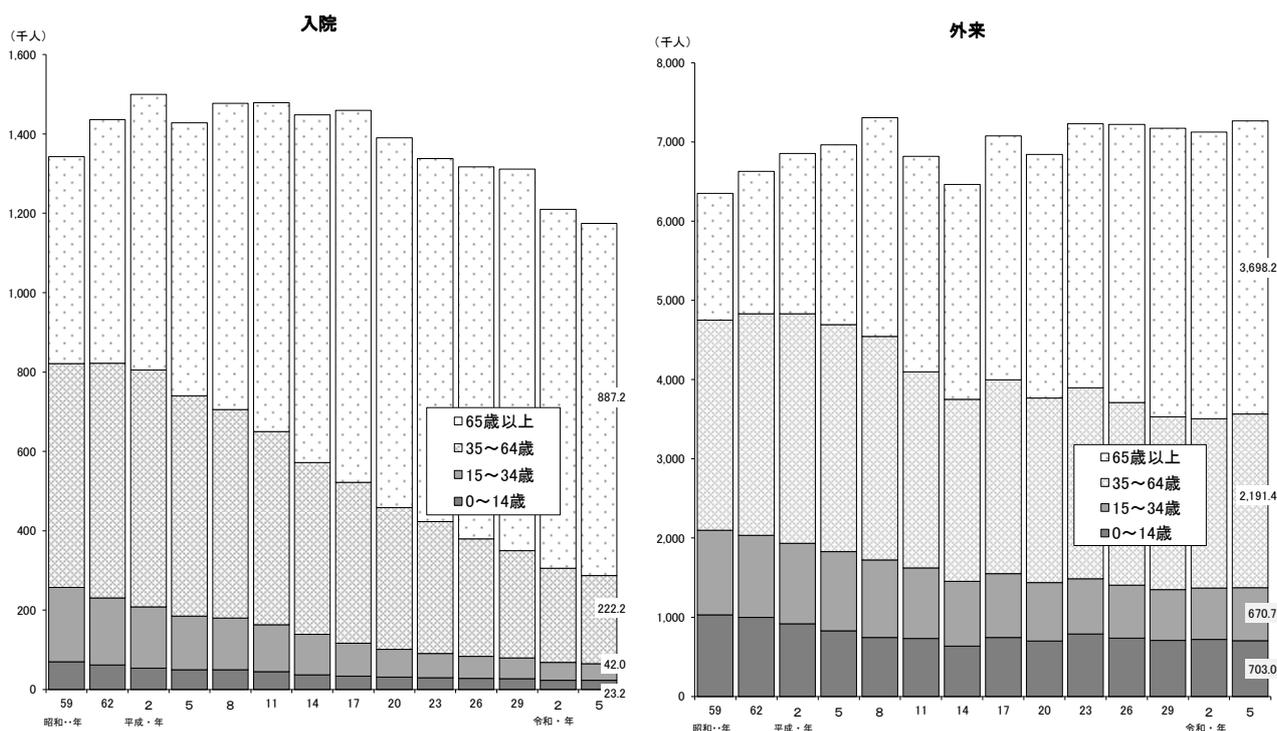
年齢階級別にみると、入院では「65歳以上」を除くいずれの年齢でも平成2年以降減少傾向となっており、外来では平成23年以降ほぼ横ばいとなっている（図2、統計表1）。

図1 施設の種類の別みた推計患者数の年次推移



注:平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



注:平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(2) 傷病分類別

推計入院患者数を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」213.1千人、「IX 循環器系の疾患」182.5千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」133.5千人となっている。

推計外来患者数では、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,236.0千人、「XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」999.0千人、「IX 循環器系の疾患」842.2千人となっている。（表2、統計表2、3）

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数

傷病分類		入院			外来			
		総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数		1 175.3	1 148.6	26.7	7 275.0	1 516.9	4 494.3	1 263.8
I	感染症及び寄生虫症	15.6	15.3	0.2	148.4	27.6	120.8	・
	結核 (再掲)	1.3	1.3	-	0.9	0.9	0.1	・
	ウイルス性肝炎 (再掲)	0.4	0.3	0.0	9.5	6.5	3.0	・
II	新生物<腫瘍>	118.8	117.8	1.0	258.2	198.6	59.6	・
	悪性新生物<腫瘍> (再掲)	106.1	105.2	0.9	186.4	152.8	33.6	・
	胃の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	8.6	8.5	0.1	15.5	12.3	3.2	・
	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	15.8	15.7	0.1	28.0	22.9	5.2	・
	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	4.0	4.0	-	4.2	3.7	0.6	・
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	14.3	14.2	0.1	18.6	16.9	1.7	・
	乳房の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	5.4	5.3	0.1	33.0	23.8	9.2	・
III	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5.6	5.6	0.0	20.3	11.1	9.2	・
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	29.1	28.5	0.6	432.5	108.0	324.5	・
	糖尿病 (再掲)	12.7	12.4	0.3	205.4	64.2	141.2	・
	脂質異常症 (再掲)	0.3	0.2	0.0	162.0	19.9	142.2	・
V	精神及び行動の障害	213.1	212.7	0.4	244.6	102.1	142.5	・
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	22.8	22.5	0.3	14.1	3.6	10.5	・
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	126.4	126.3	0.0	49.5	32.7	16.7	・
	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	26.6	26.6	0.1	76.8	25.8	51.0	・
VI	神経系の疾患	123.2	122.5	0.8	161.8	62.3	99.4	・
	アルツハイマー病 (再掲)	52.7	52.4	0.2	44.0	13.8	30.1	・
VII	眼及び付属器の疾患	10.0	9.5	0.5	333.7	57.4	276.3	・
VIII	耳及び乳様突起の疾患	1.9	1.9	0.0	81.0	12.6	68.5	・
IX	循環器系の疾患	182.5	178.5	4.1	842.2	192.8	649.4	・
	高血圧性疾患 (再掲)	4.2	3.2	1.0	606.4	81.1	525.4	・
	心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	57.2	55.9	1.4	139.0	64.2	74.7	・
	脳血管疾患 (再掲)	109.4	107.9	1.5	74.8	32.6	42.2	・
X	呼吸器系の疾患	83.5	82.5	1.0	625.3	71.8	553.4	・
	肺炎 (再掲)	26.3	25.9	0.4	4.7	2.5	2.2	・
	慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	5.7	5.6	0.1	16.4	5.9	10.5	・
	喘息 (再掲)	2.1	2.0	0.1	98.3	14.7	83.6	・
XI	消化器系の疾患	60.1	57.5	2.6	1 236.0	112.5	157.1	966.4
	う蝕 (再掲)	0.0	0.0	-	222.6	4.2	2.1	216.3
	歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.2	0.2	0.0	550.6	9.9	4.6	536.2
	肝疾患 (再掲)	5.5	5.4	0.1	23.1	12.0	11.0	・
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	12.3	12.2	0.2	314.2	40.3	273.9	・
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	73.6	70.9	2.7	805.1	160.2	644.9	・
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	51.1	48.9	2.2	337.1	112.2	224.9	・
	慢性腎臓病 (再掲)	22.0	20.3	1.7	128.8	51.0	77.8	・
XV	妊娠、分娩及び産じょく	14.1	10.4	3.7	12.1	6.0	6.1	・
XVI	周産期に発生した病態	6.6	6.2	0.4	3.3	3.0	0.3	・
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	5.5	5.5	0.0	16.4	11.0	5.4	・
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14.5	13.3	1.2	92.7	42.6	50.1	・
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	133.5	129.1	4.5	281.9	86.2	194.2	1.5
	骨折 (再掲)	96.3	92.6	3.7	98.1	38.6	59.5	・
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5.7	5.3	0.4	999.0	92.7	610.4	296.0
XXII	特殊目的用コード	14.8	14.8	0.1	29.3	6.0	23.3	・

(3) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は239.0千人であり、これを施設の種別別にみると、「病院」21.8千人、「一般診療所」121.5千人、「歯科診療所」95.7千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、総数では「往診」40.4千人、「訪問診療」166.3千人、「医師・歯科医師以外の訪問」32.4千人となっている。(表3)

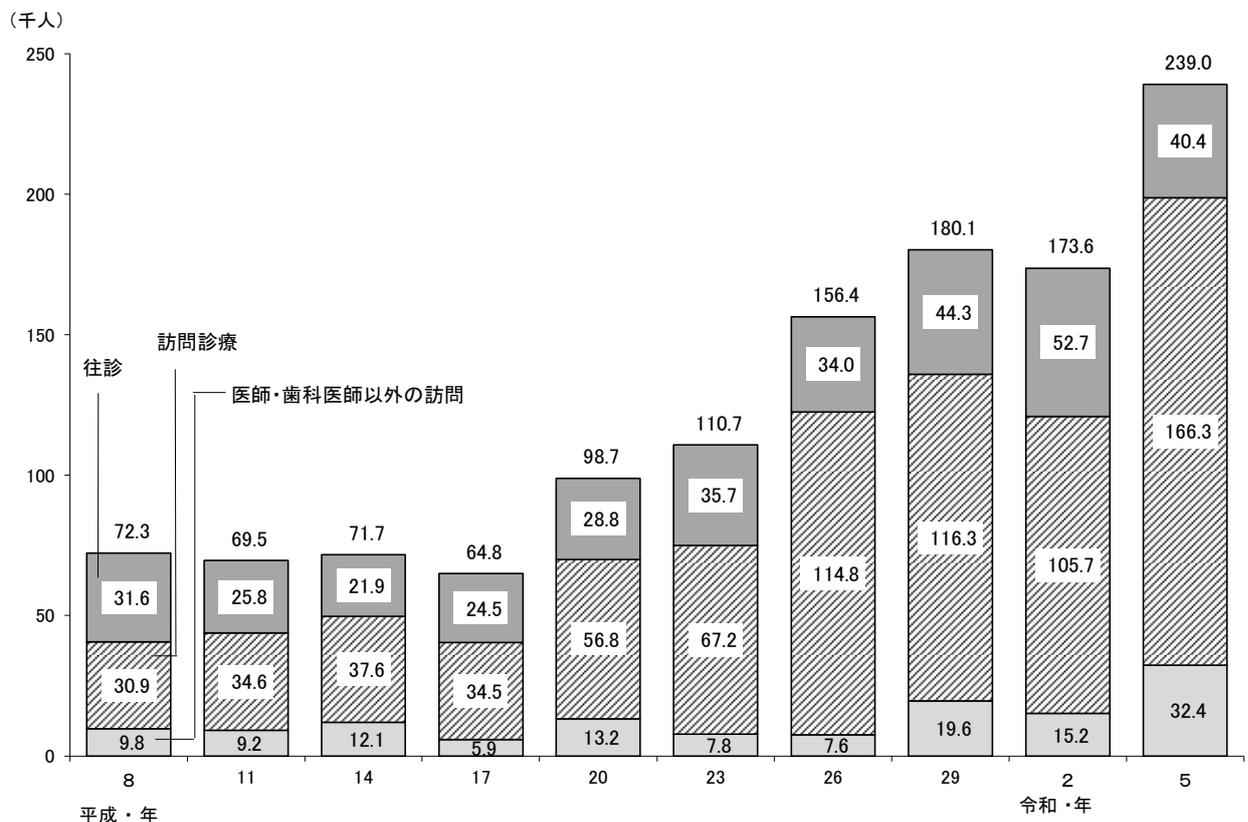
年次推移をみると、在宅医療を受けた推計外来患者数は、「往診」「訪問診療」「医師・歯科医師以外の訪問」のいずれでも平成8年以降増加傾向となっている(図3)。

表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

年齢階級	推計外来患者数総数	(総数)				(病院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 275.0	239.0	40.4	166.3	32.4	21.8	6.8	12.8	2.3	121.5	33.6	86.1	1.9	95.7	67.4	28.3
0～14歳	703.0	0.9	0.4	0.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.3	0.3	0.0	0.2	0.2	-
15～34歳	670.7	3.3	1.5	1.8	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	2.6	1.3	1.3	0.0	0.4	0.4	-
35～64歳	2 191.4	14.5	5.5	7.5	1.4	2.5	0.8	0.8	0.9	8.7	4.7	3.8	0.2	3.2	2.9	0.3
65歳以上	3 698.2	220.0	32.9	156.3	30.8	18.9	5.7	11.9	1.3	109.3	27.2	80.6	1.6	91.8	63.8	28.0
(再掲)																
70歳以上	3 103.7	213.9	31.9	151.6	30.3	17.9	5.4	11.4	1.1	106.5	26.6	78.5	1.5	89.4	61.7	27.7
75歳以上	2 275.3	202.5	30.0	143.8	28.8	16.7	5.0	10.7	0.9	100.2	24.9	74.0	1.3	85.7	59.1	26.6

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。
 2) 「往診」とは、患者又は家族等の求めに応じて患者(介護老人保健施設等を含む。)に赴いて診療するものをいう。
 3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」、「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

図3 在宅医療を受けた推計外来患者数の年次推移

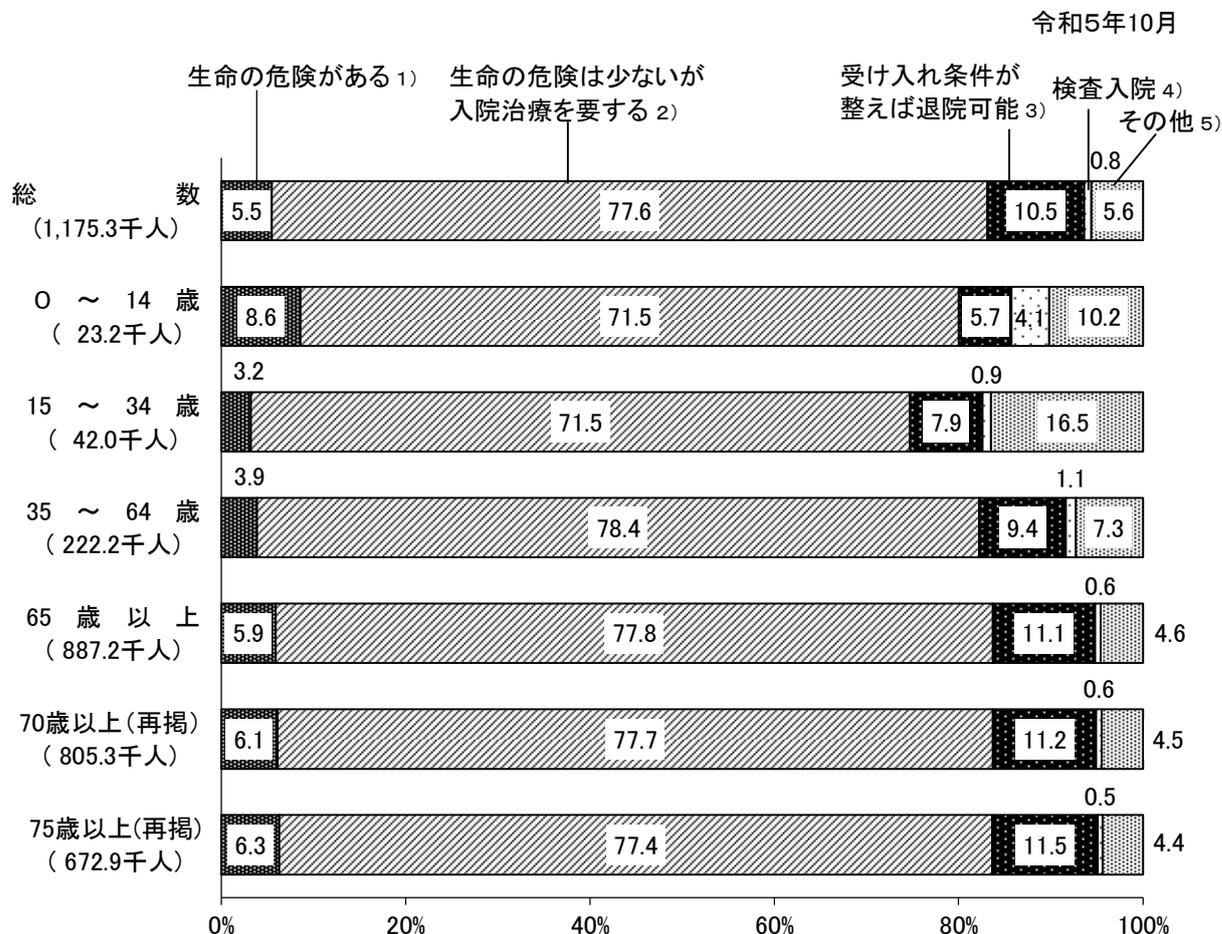


注：平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.5%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」77.6%、「受け入れ条件が整えば退院可能」10.5%、「検査入院」0.8%となっている（図4）。

図4 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



- 注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) 総数には、年齢不詳を含む。
 7) () 内は、推計入院患者数である。